

プリンタドライバ (MicroDry J-5.1 for Macintosh) の使い方

このたびは アルプス電気の製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。
本ドライバソフトは MD シリーズプリンタ(for Macintosh) 専用です。その他のプリンタやコンピュータをお使いの場合にはご利用できませんのでご注意ください。また、本ドライバソフトは MD-1000 について新たな機能が搭載され、操作性も一新することでさらに使いやすくなっています。これからも皆様のパソコンライフがますます楽しくなることを期待しております。

目次

1.新機能クイックリファレンス

用紙設定ダイアログ

印刷ダイアログ

カラー設定ダイアログ

特色カラー印刷

フルカラー光沢仕上げ印刷(600dpi)

フルカラー光沢仕上げ印刷(1200dpi)

特色ホワイト下地印刷

2.付録

用紙の種類と給紙方法

専用光沢シールの印刷範囲

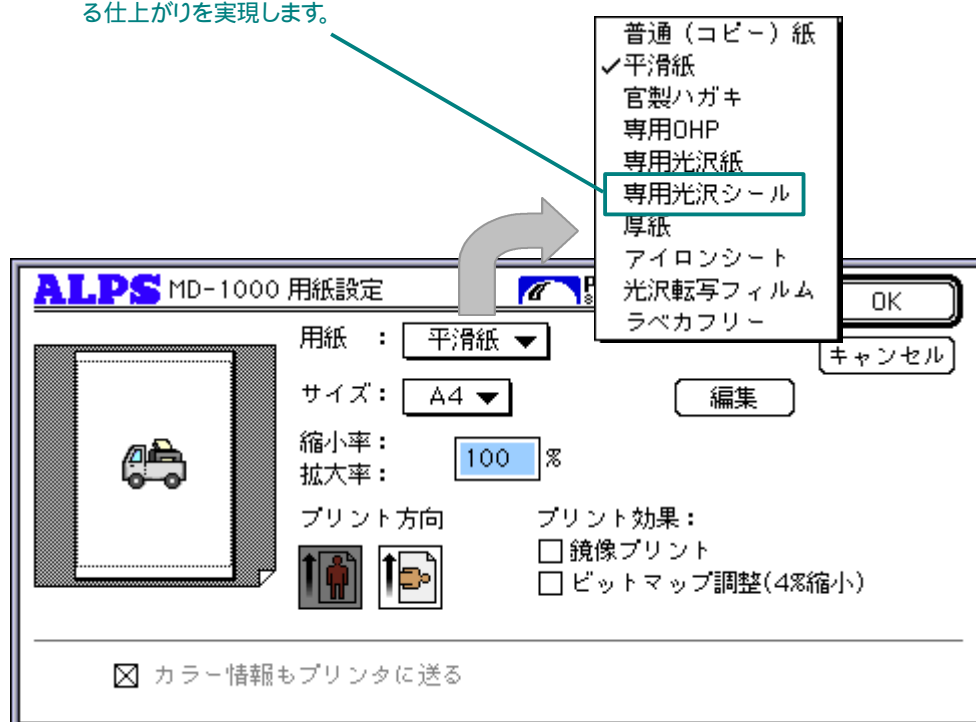
1. 新機能クイックリファレンス

— 新したプリンタドライバの機能を紹介します。

用紙設定ダイアログ

専用光沢シール(はがきサイズ 16 分割シール)が追加されました。

1200dpi の品質で印刷します。シアン、マゼンダ、イエローおよび光沢仕上げインクで印刷しますから写真並みに艶のある仕上がりを実現します。



印刷ダイアログ

前バージョンまでは印刷ダイアログを開いてから、さらに [カラー設定] ボタンをクリックし、カラー設定ダイアログで印刷モードなどの基本設定を行いました。本バージョンでは印刷ダイアログで各種設定を行うことができます。

・通常のフルカラー印刷を行うときに選びます。

・メタリックやホホワイトなど特色カラーやラベカフリーカラーで印刷するときを選びます。
(前バージョンの[カラー設定]ダイアログにある[特色カラー]チェックボックスに相当します。)

・フルカラー印刷したあとに艶のある光沢仕上げをするときに選びます。
(前バージョンの[印刷ダイアログ]にあるオプション[光沢用カセット使用]に相当します。)

・ホワイトを下地として印刷するときを選びます。(新機能)

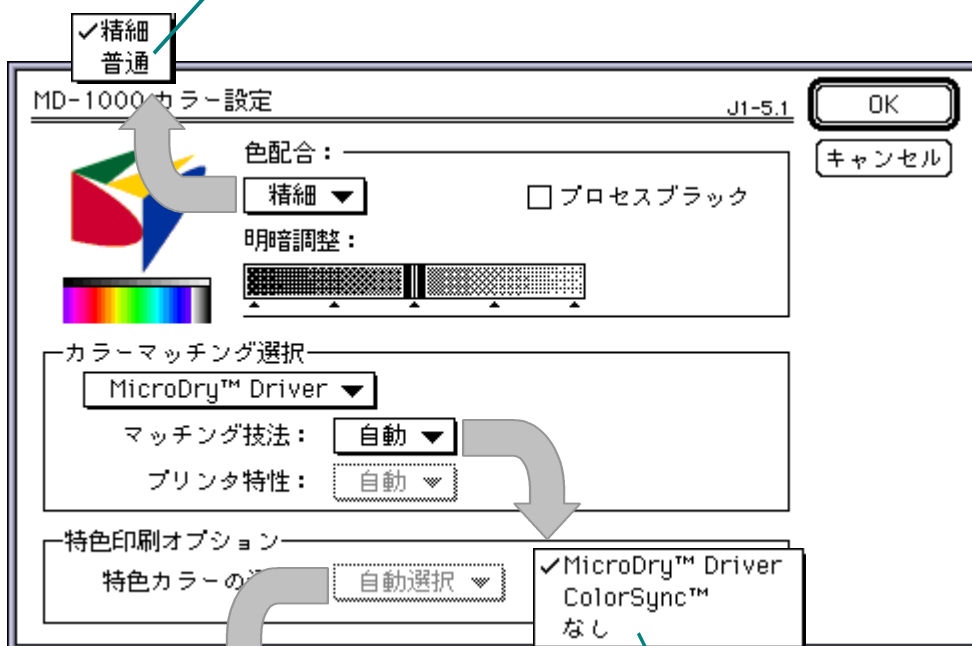
印刷モードの設定に合わせて選びます。通常のカラー印刷を行うときには「フルカラー」を選びます。特色カラーやラベカフリーカラー印刷のときには「8色カラー」を選ぶと多色印刷、「グレースケール」を選ぶと単色印刷になります。

・数値が大きいほど密度が濃くなり、印刷品質も向上しますが、その分スプーリングや印刷にも時間がかかります。用紙として「平滑紙」を選ぶか、印刷モードとして「光沢仕上げ印刷」を選ぶと200dpiの品質を選ぶことができます。また、用紙として「専用光沢紙」や「専用光沢シール」を選ぶと自動的に1200dpiに設定されます。

カラー設定ダイアログ

カラー設定ダイアログには、印刷するフルカラーデータにできるだけ近い仕上がりを表現するための設定があります。従来通り「プロセスブラック」をチェックするとイエロー、シアン、マゼンダ、ブラックの4色を使って黒を表現するため写真画像などの階調変化を自然に印刷することができます。

・画像を印刷するときの品質を設定します。フルカラー印刷の場合は[精細]に設定されます。粗い用紙に印刷するときや印刷時のかすれやムラが気になるときは[普通]を選ぶとよいでしょう



✓自動選択
スプール時に選択
印刷時に選択

・印刷モードとして[特色カラー印刷]を選んだ場合のみ有効になります。インクカセットの色を選ぶタイミングを変えることができます。

・カラーマッチングはモニタに表現された色により近い色で印刷するための機能です。[ColorSync™]は従来の Macintosh の基本システムによるものですが、独自のカラーマッチングを採用した[MicroDry™ Driver]が追加されています。

マッチング技法

✓自動
カラー写真
グラフィックス

・文字、写真、グラフなどが混在している場合に選択します。

・カラー写真が含まれている場合に選択します。

・グラフやイラストなどのグラフィックが含まれている場合に選択します。

特色カラー印刷

「メタリックカラー」と呼んでいたゴールド、マゼンダ、シルバー、ブルーに「特色ホワイト」が加わり、白色を印刷することができます。特色ホワイトはいままでのメタリックカラーと同じように透過しませんのでプレゼントカードなど艶のある色付きの紙にもきれいに印刷することができます。本ドライバソフトでは、メタリックカラーと特色ホワイトを総称して「特色カラー」と呼んでいます。また、特色ホワイトには下地として印刷する機能が別途用意されています(詳しくは「特色ホワイト下地印刷」をお読みください)

色成分の指定

特色ホワイトで印刷する部分は「ライトグレー」を指定してください。

- ・ RGB による成分指定 (n/100%)
ホワイト-----R (90) G (90) B (90)
- ・ CMYK による成分指定 (n/100%)
ホワイト-----C (10) M (10) Y (10) K (0)

フルカラー光沢仕上げ印刷(600dpi)

従来の平滑紙の他に、以下の用紙に対してもフルカラー光沢仕上げ印刷(600dpi)が可能になりました。

・用紙

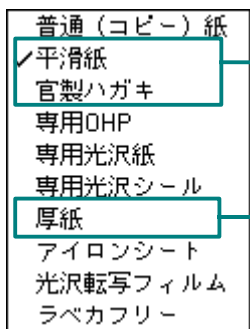
ハイグレードペーパー(平滑紙)、官製はがき、名刺作成シート、プレゼントカード

・使用するインクカセット

紙用シアン、紙用マゼンダ、紙用イエロー、紙用光沢仕上げ

<注意>紙用ブラックは使用しません。

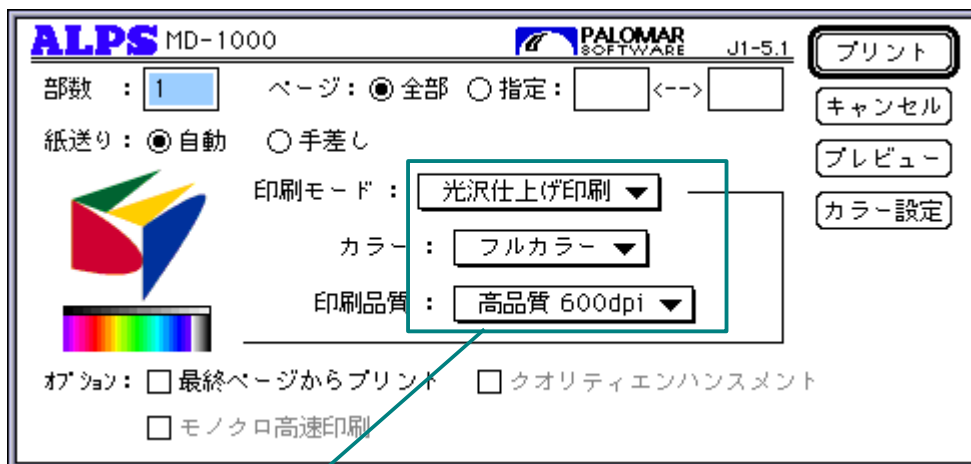
・用紙設定ダイアログ



・用紙設定として[平滑紙][官製はがき][厚紙]のいずれかを選びます。

・印刷ダイアログ

[印刷モード]を[光沢仕上げ印刷]に設定します。



・フルカラー光沢仕上げ印刷(600dpi)の設定例です。

<参考>フルカラー印刷(CMYK) & 光沢仕上げ印刷

フルカラー印刷(CMYK)を行ったあと、ページ合成機能を利用して光沢仕上げを行うこともできます。

用紙設定として[平滑紙][官製ハガキ][厚紙]のいずれかに設定します。

シアン、マゼンダ、イエロー、ブラックインクを使い、通常のフルカラー印刷を行います。

<注意>このとき印刷ダイアログで[プリント]をクリックするときに[コマンド]キーを押しながらクリックします。表示されたダイアログで[有効]ボタンをクリックすると、ページ合成機能がオンになります。

印刷が終わったら、紙用ブラックのインクカセットを取り出し、代わりに紙用光沢仕上げのインクカセットをセットします。

再び印刷ダイアログを表示し、[印刷モード]を[光沢仕上げ印刷]に設定します。[カラー]オプションは[グレースケール]または[白黒]に設定します。

[プリント]をクリックし、光沢仕上げ印刷を行います。

フルカラー光沢仕上げ印刷(1200dpi)

従来の専用光沢紙の他に、以下の用紙に対してもフルカラー光沢仕上げ印刷(1200dpi)が可能になりました。

・用紙

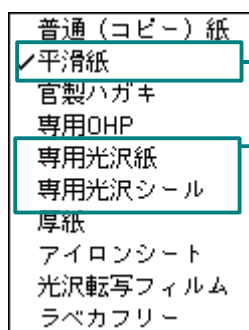
平滑紙(当社製ハイグレードペーパーを推奨) 専用光沢紙(A4) 専用光沢はがき、専用光沢シール

・インクカセット

紙用シアン、紙用マゼンダ、紙用イエロー、紙用光沢仕上げ

<注意>紙用ブラックは使用しません。

・用紙設定ダイアログ

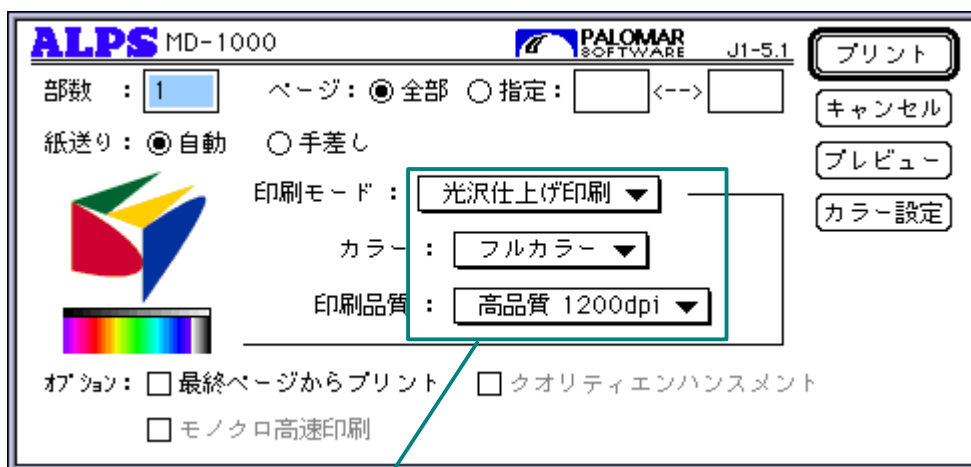


・用紙に合わせて[平滑紙][専用光沢紙][専用光沢シール]のいずれかを選びます。



・専用光沢はがきに印刷する場合、用紙を[専用光沢紙]、[サイズ]で[ハガキ]を選びます。

・印刷ダイアログ



・フルカラー光沢仕上げ印刷(1200dpi)の設定です。用紙として専用光沢紙、専用光沢シールを選んだ場合、自動的に設定されます。平滑紙を選んだ場合は本ダイアログで上記のように設定してください。

<注意>フルカラー光沢仕上げ印刷(1200dpi)について

フルカラー光沢仕上げ印刷(1200dpi)は「専用光沢紙」へ印刷することで高画質印刷が可能になります。「専用光沢紙」以外では、印刷時の画像ドット(用紙に転写されるインクの最小単位)が用紙に転写されないため画質が損なわれることがあります。

特色ホワイト下地印刷

色付きの用紙にフルカラーで印刷したいときは、特色ホワイトを下地として利用する方法があります。ホワイトで下地印刷すると紙の色に左右されることなくフルカラー印刷が可能になります。

・用紙

平滑紙(当社製ハイグレードペーパーを推奨) 普通紙、厚紙など。

<注意>アイロンプリントシート、光沢転写フィルム、専用 OHP やラベカフリーシートには特色ホワイト下地印刷することはできません。

・インクカセット

紙用特色ホワイト

・用意するデータ

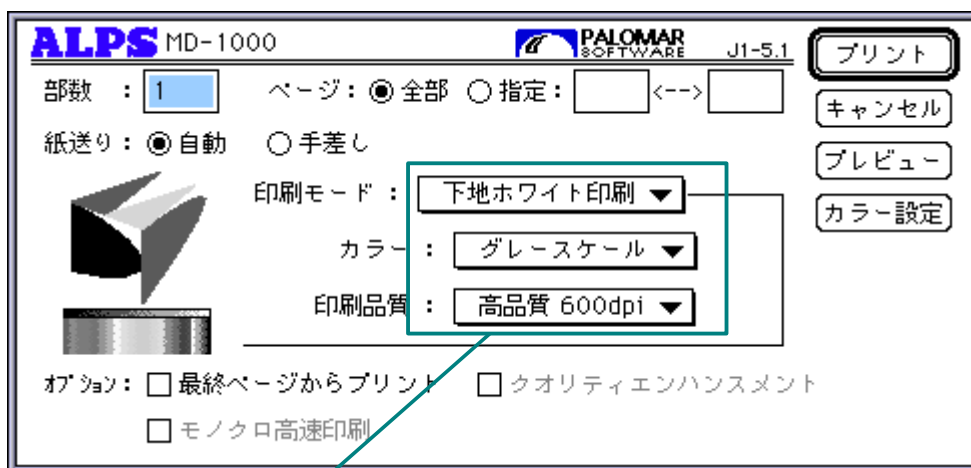
下地印刷を施した上に印刷するフルカラー用データを用意します。

<注意>データ上の白い部分 (R=G=B=100%) は下地印刷されません。

・印刷ダイアログ

フルカラー印刷するデータに合わせ、あらかじめ用紙設定を行ってください。

印刷ダイアログでは[印刷モード]を[下地ホワイト印刷]に設定します。[カラー]や[印刷品質]のオプションは自動的に設定されます。



・特色ホワイト下地印刷の設定です。

<参考>

下地印刷を行うときにページ合成機能をオンにすると、ずれることなく続けてフルカラー印刷を行うことができます。また、ページ合成機能を利用しない場合は、下地印刷した用紙に手差しでフルカラー印刷を行ってください。

2. 付録

用紙の種類と給紙方法

用紙の種類	自動給紙	手差し
普通紙(コピー用普通紙)・平滑紙		
専用光沢紙	×	
専用光沢はがき		
官製はがき		
専用光沢シール	×	
専用 OHP シート		
アイロンプリントシート	×	
ラベカフリーシート	×	
光沢転写フィルム	×	
その他(専用名刺作成シート・厚紙など)	×	

専用光沢シールの印刷範囲

